

平成29年3月6日

保護者の皆様

仙台市立栗生小学校
校長 佐藤 朗

「教育活動に関するアンケート結果」について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。さて、11月に実施いたしました「教育活動に関するアンケート」の結果につきまして、ご報告いたします。

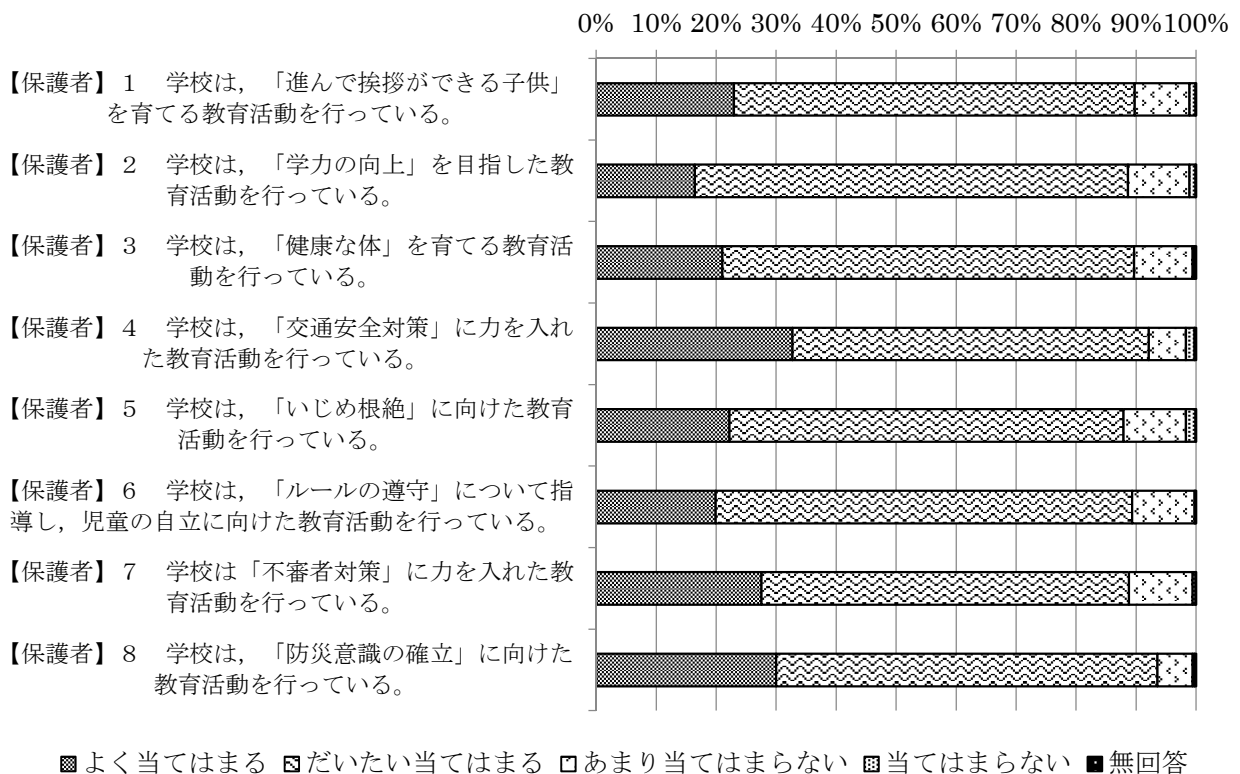
- 実施日 平成28年11月22日(火)～12月2日(金)
- 対象者 仙台市立栗生小学校 保護者(回収率95%),児童(回答率99%),教員(回収率100%)

1 今年度の協働型学校評価目標について

今年度は下記の事項を重点目標とし、取り組んでまいりました。

今年度の重点目標「学校や家庭・地域で安全に、そして安心して生活できるようにする」
 ○交通安全対策 ○いじめ根絶 ○ルールの遵守 ○不審者対策 ○防災意識の確立

【保護者による学校評価】



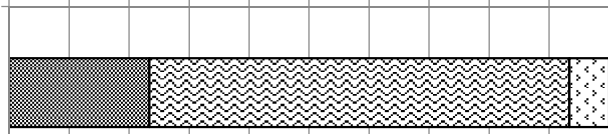
【保護者による学校評価】についての考察

どの項目についても、およそ90%前後の保護者の皆様が「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」とご回答いただきました。学校の取組に一定の評価をいただいたものと考えております。その中でも「交通安全対策」の評価が高く、「学力の向上」「ルールの遵守」についての評価が低い傾向にあります。「いじめ根絶」については、「当てはまらない」という回答が複数ありました。

【保護者による自己評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【保護者の自己評価】1 家庭では、お子さんが自ら挨拶できるように、大人が「やってみせる」「できたらほめる」ことを継続している。



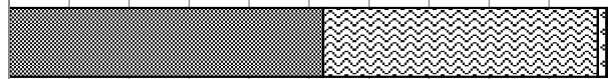
【保護者の自己評価】2 家庭では、お子さんが粘り強く学習できるように、頑張りを認めて褒めたり、努力を継続できるように励ましたりした。



【保護者の自己評価】3 家庭では、お子さんと一緒に生活の仕方を振り返り、「早寝・早起き・朝ご飯」が実行できるように励まし、体を鍛えるように働き掛けている。



【保護者の自己評価】4 家庭では、お子さんが交通事故に遭わないように、道路の歩き方や自転車の乗り方に気を付けるよう、働き掛けている。



【保護者の自己評価】5 家庭では、「いじめは絶対にしてはならない」ということについて、お子さんと一緒に話し合ったり、学校での様子(友人関係など)についてお子さんから話を聞いたりしている。



【保護者の自己評価】6 家庭では、お子さんと一緒に生活の仕方を振り返り、家庭での約束やテレビの視聴、ゲームやネットをする時間について確認し、ルールを守って生活するように働き掛けている。



【保護者の自己評価】7 家庭では、不審者に遭遇したときの行動の仕方をお子さんと一緒に話し合ったり、帰宅時間を守るように働き掛けたりしている。



【保護者の自己評価】8 家庭では、災害時の行動の仕方をお子さんと一緒に話し合い、安全に行動できるように働き掛けている。



■よく当てはまる □だいたい当てはまる ▨あまり当てはまらない ▩当てはまらない ■無回答

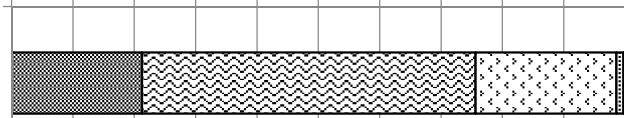
【保護者による自己評価】についての考察

ご家庭での取組の中では、「いじめ根絶」と「交通安全対策」についての評価が高い傾向にありました。お子さんの安心・安全の確保につきましては、やはり保護者の皆様の意識も高く、積極的な取組を行っていただいているようです。逆に、「防災意識の向上」と「粘り強い学び」についての取組の意識は、低い傾向にありました。本校学区は、土砂災害警戒区域を抱え、広瀬川の氾濫も心配される地域です。いざというときの対応を、ご家庭でもぜひ話し合ってみてください。

【保護者による児童評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【保護者による児童評価】 1 お子さんは家庭や地域で、自分から進んで挨拶をしている。



【保護者による児童評価】 2 お子さんは「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じながら、粘り強く学習に取り組んでいる。



【保護者による児童評価】 3 お子さんは「早寝・早起き・朝ご飯」を実行し、外遊びやスポーツを通して体を鍛えている。



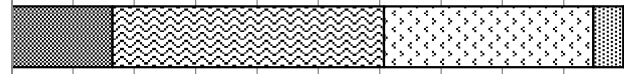
【保護者による児童評価】 4 お子さんは、交通事故に遭わないように、道路の歩き方や自転車の乗り方に気を付け、交通ルールを守っている。



【保護者による児童評価】 5 お子さんは「いじめは絶対にしてはならない」と考えており、学校での様子（友人関係など）について家庭で話をしている。



【保護者による児童評価】 6 お子さんは、自分の生活を振り返り、家庭での約束やテレビ視聴、ゲームやネットをする時間などを守って生活している。



【保護者による児童評価】 7 お子さんは、不審者に遭遇したときの行動の仕方を理解し、帰宅時間を守っている。



【保護者による児童評価】 8 お子さんは、地震が起きたときの行動などについて理解している。



■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

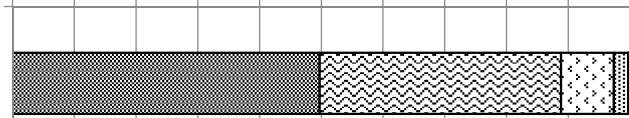
【保護者による児童評価】 についての考察

保護者による児童評価については、お子さんが「交通ルールを守っている」、「いじめは絶対にいけない」と考えていると回答した保護者が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせると95ポイント近くになりました。ご家庭で安全・安心について十分に考えてくださっているようです。学校でも、お子さんが交通ルールを守って安全に登下校できるよう指導するとともに、いじめは絶対に許されないことだということを徹底して指導してまいります。逆に、「ルールの遵守」については40ポイント近い保護者が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答しており、ゲームやテレビを見る時間があまり守られていないという実態があるようです。家庭での約束について、あらためて話し合っただけだと幸いです。

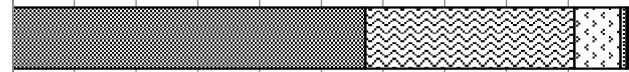
【児童自己評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 1 自分から進んでみんなに挨拶した。



【児童自己評価】 2 勉強したことが分かるように、最後まであきらめずに頑張った。



【児童自己評価】 3 元気に生活するために、運動や外遊びを頑張った。



【児童自己評価】 4 交通事故に遭わないように、安全に気を付けた。



【児童自己評価】 5 友だちの嫌がることをしないで、親切にしたり、助け合ったりしている。



【児童自己評価】 6 学校の約束を守った。



【児童自己評価】 7 あやしい人に会ったときは、どうすればよいか分かる。



【児童自己評価】 8 避難訓練に真剣に取り組んだ。



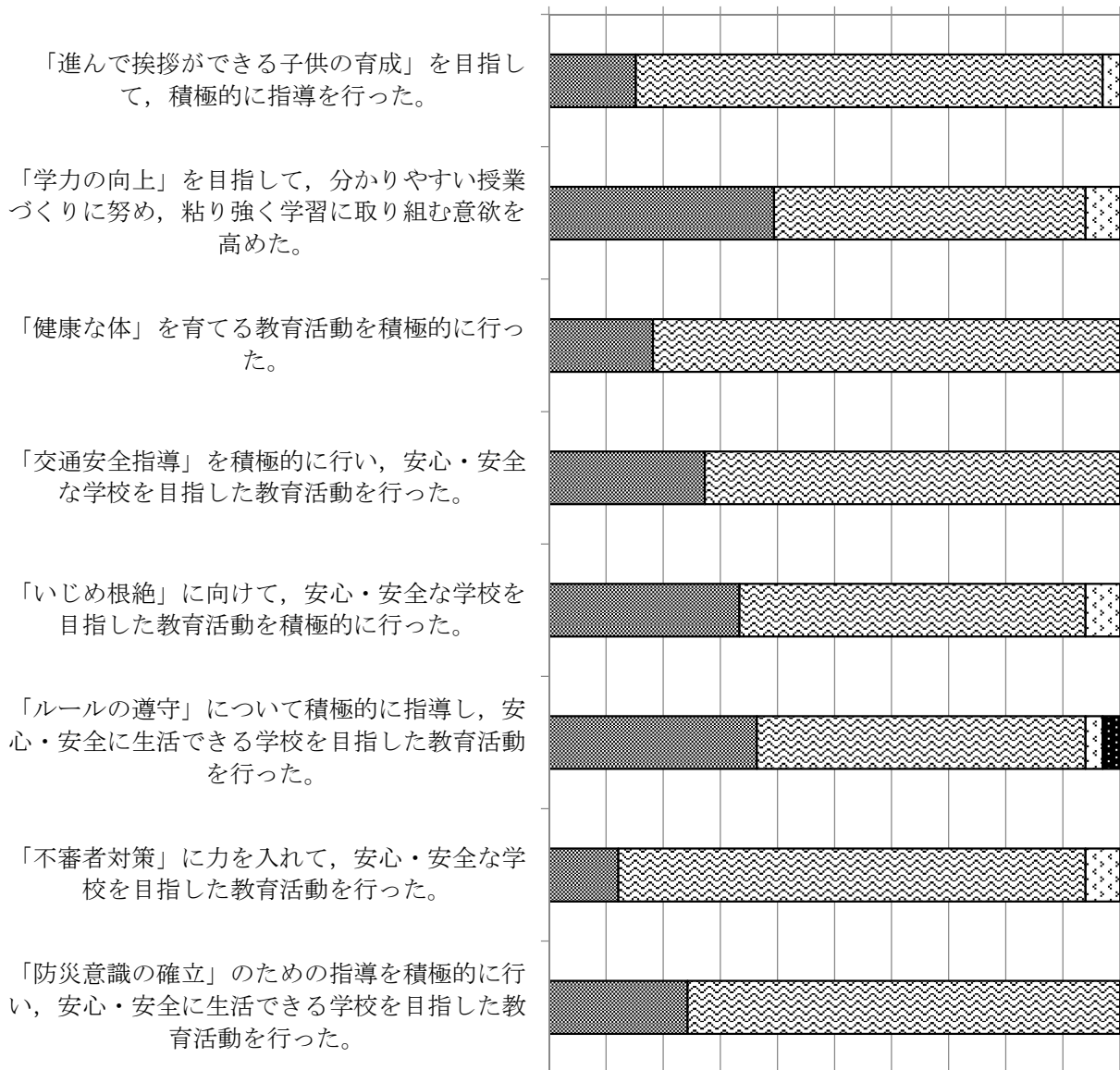
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価】についての考察

児童による自己評価の結果は、「交通安全対策」と「不審者対策」への意識が高い傾向にあります。子供たちも、保護者同様、安全・安心の意識が高いことがうかがえます。ご家庭できちんと指導していただいている結果だと思われます。ご家庭での取組に感謝いたします。逆に、「挨拶」と「いじめ撲滅」については、意識が低い傾向が見られました。自分に厳しく評価したのかもしれませんが、自分から進んで挨拶をすることと、人の嫌がることをせずに親切にすることについては、学校でも継続して指導していく必要があると感じました。ご家庭のご支援、ご協力を、よろしくお願いいたします。

【教師による学校評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価】についての考察

教師による学校評価の結果としては、「学力の向上」と「ルールの遵守」についての意識が高い傾向になりました。勉強を教えることと学級のルールを守ることについては、頑張っ取り組んだと考える教師が多いようです。逆に、「進んで挨拶をする」と「不審者対策」については、指導はしているが十分とはいえないと考える教師が多いようです。教師自らが率先垂範し、子供たちにも明るい挨拶を行うよう指導すると共に、万一不審者に出会ったときの対応について指導し、子供たちの安心・安全を確保するように努めてまいります。保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【教師による児童評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

栗生小の子供たちは、自分から進んで挨拶をしている。

栗生小の子供たちは、「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じながら、意欲的に学び、互いの考えを伝えたり聞いたりするなど、学び合う姿勢が身に付いている。

栗生小の子供たちは、自分の体や食に関心を持ち、「早寝・早起き・朝ご飯」を実行しようとしたり、進んで体を鍛えようとしたりするなど、健康に生活しようとする意識が高まった。

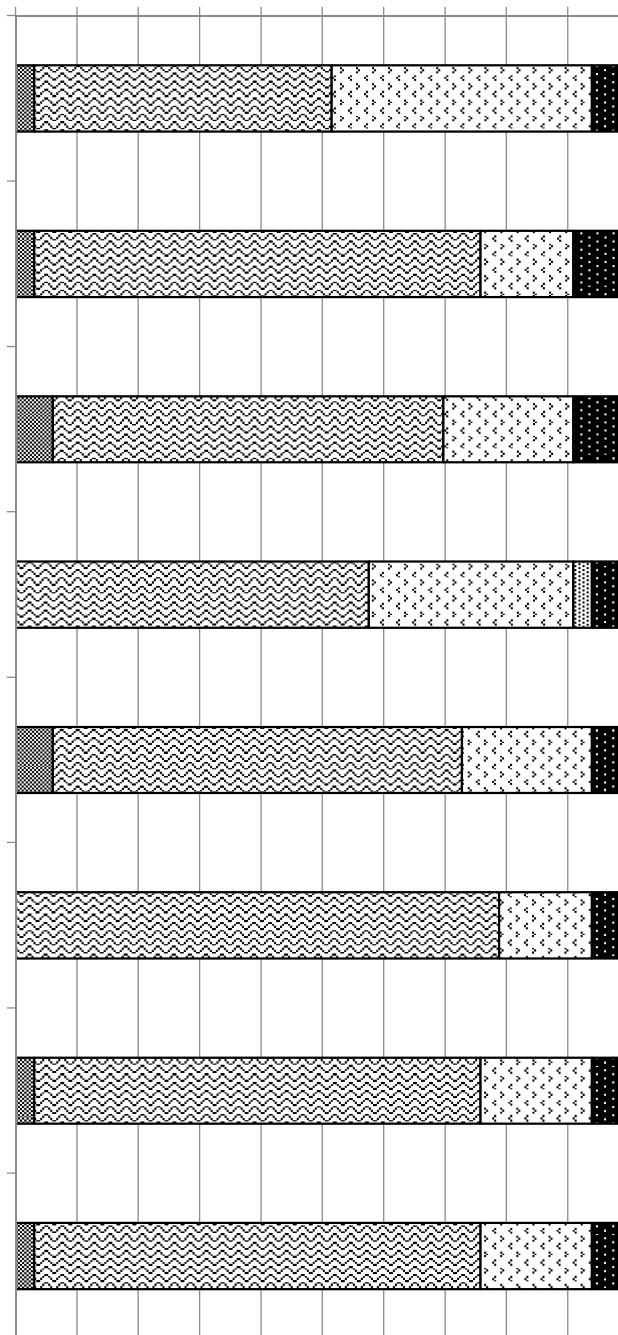
栗生小の子供たちは、交通安全について必要なことを理解し、進んで交通ルールを守るとともに、安全に行動する態度や能力が身に付いている。

栗生小の子供たちは、いじめは絶対にいけないことだと認識し、相手の立場に立って考え、思いやる気持ちが育っている。

栗生小の子供たちは、学校の決まりを守って生活している。

栗生小の子供たちは、不審者に対する正しい知識や対応方法を身に付けている。

栗生小の子供たちは、災害に対する正しい知識や対応方法を身に付けている。



■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による児童評価】についての考察

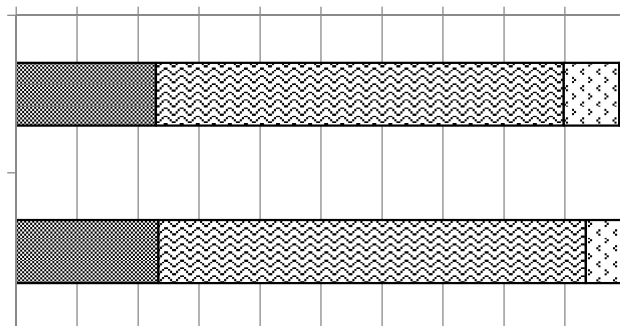
教師による児童評価につきましては、子ども一人一人についてではなく、担任している子ども全体を見て回答していることから、評価が「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」に集中する傾向があります。その中でも「挨拶」と「交通安全」についての評価が低い傾向にありました。子供たちにもっと進んで挨拶をしてほしい、交通事故に遭わないように気を付けてほしいという意識が強いことが分かりました。

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 1】
「進んで挨拶ができる子供」

【保護者の学校評価】1 学校は、「進んで挨拶ができる子供」を育てる教育活動を行っている。

【保護者の自己評価】1 家庭では、お子さんが自ら挨拶できるように、大人が「やってみせる」「できたらほめる」ことを続けている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



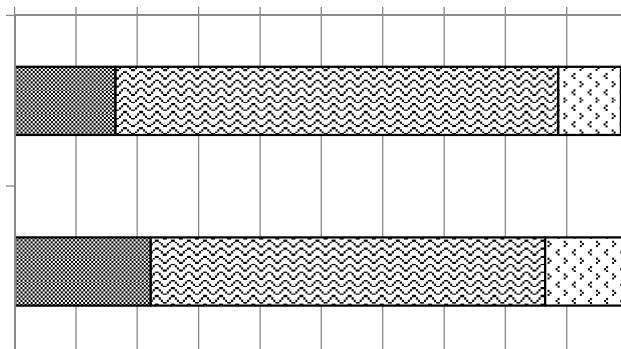
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 2】
「学力の向上」

【保護者の学校評価】2 学校は、「学力の向上」を目指した教育活動を行っている。

【保護者の自己評価】2 家庭では、お子さんが粘り強く学習できるように、頑張りを認めて褒めたり、努力を継続できるように励ましたりした。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



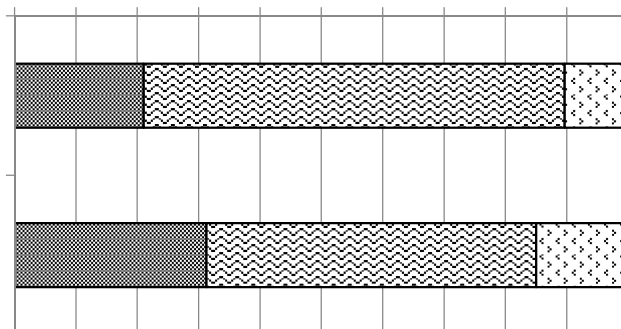
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 3】
「健康な体」

【保護者の学校評価】3 学校は、「健康な体」を育てる教育活動を行っている。

【保護者の自己評価】3 家庭では、お子さんと一緒に生活の仕方を振り返り、「早寝・早起き・朝ご飯」が実行できるように励まし、体を鍛えるように働き掛けている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



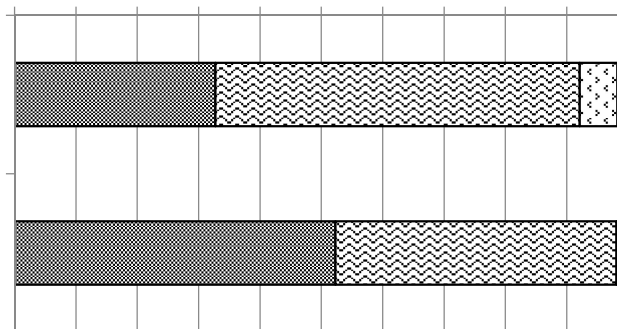
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 4】
「交通安全対策」

【保護者の学校評価】4 学校は、「交通安全対策」に力を入れた教育活動を行っている。

【保護者の自己評価】4 家庭では、お子さんが交通事故に遭わないように、道路の歩き方や自転車の乗り方に気を付けるよう、働き掛けている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



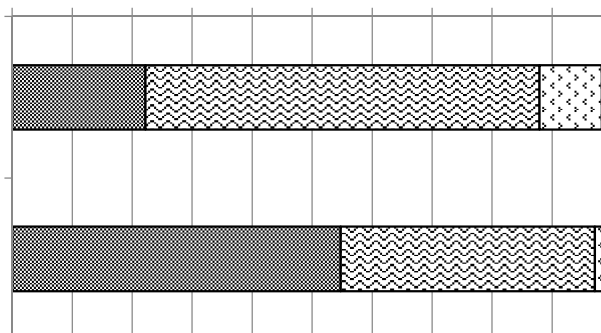
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 5】
「いじめ根絶」

【保護者の学校評価】5 学校は、「いじめ根絶」に向けた教育活動を行っている。

【保護者の自己評価】5 家庭では、「いじめは絶対にしてはならない」ということについて、お子さんと一緒に話し合ったり、学校での様子（友人関係など）についてお子さんから話を聞いたりしている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



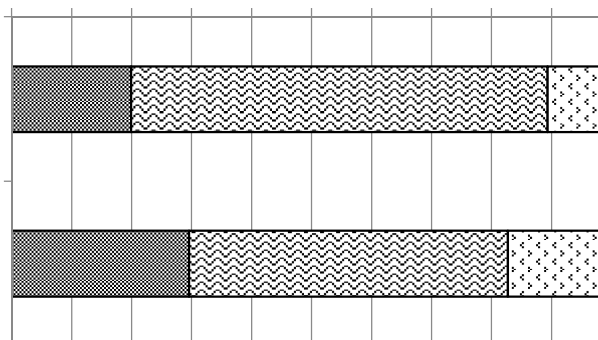
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 6】
「ルールの遵守」

【保護者の学校評価】6 学校は、「ルールの遵守」について指導し、児童の自立に向けた教育活動を行っている。

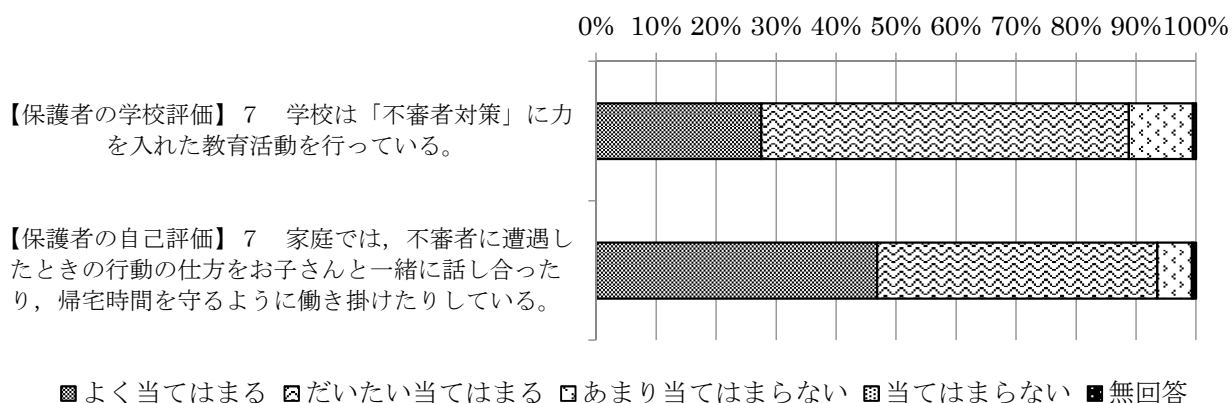
【保護者の自己評価】6 家庭では、お子さんと一緒に生活の仕方を振り返り、家庭での約束やテレビの視聴、ゲームやネットをする時間について確認し、ルールを守って生活するように働き掛けている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

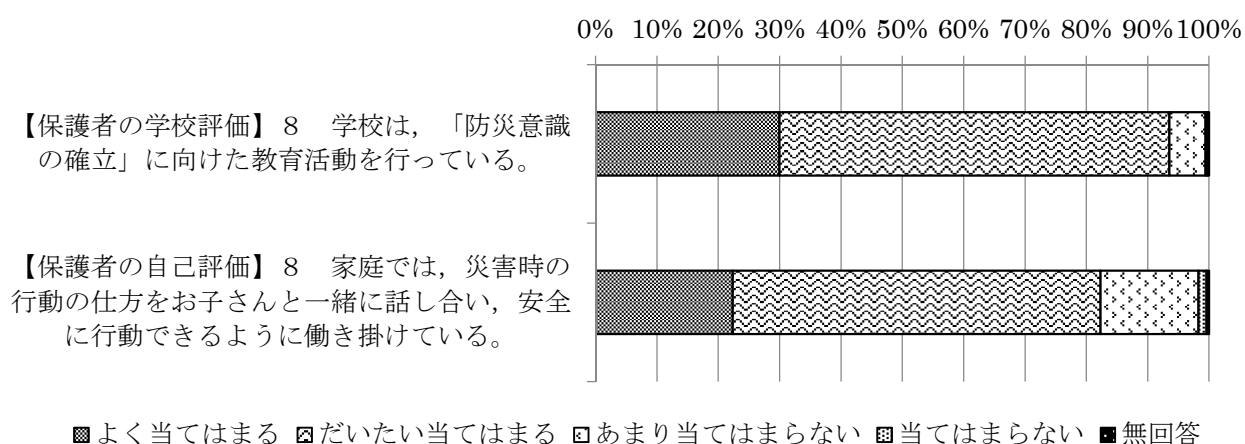


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 7】 「不審者対策」



【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 8】 「防災意識の確立」



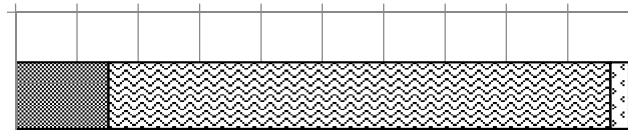
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較】についての考察

保護者による自己評価と保護者による学校評価を比較すると、「挨拶」と「学力」についてはほぼ同じような傾向が見られました。家庭と学校の取組の差異はあまりないように考えられているようです。「いじめ対策」「交通安全対策」「不審者対策」については、ご家庭ではきちんと指導しているけれども、学校にはもう少し頑張ってもらいたいと考えていただいているようです。特に「いじめ対策」については、ご家庭での取組について「よく当てはまる」と回答されている保護者が50ポイントを超えているのに対して、学校が「よく当てはまる」と回答された保護者は半分以下の22ポイント程度でした。学校で、「いじめ対策」について一層充実した取組を行うことを期待されていることが分かりました。逆に「防災意識の向上」については、学校では指導しているけれども、家庭ではあまり意識されていない傾向が見られるようです。

【教師による学校評価と保護者による学校評価 1】
「進んで挨拶ができる子供」の育成

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【教師】1 「進んで挨拶ができる子供の育成」
を目指して、積極的に指導を行った。



【保護者】1 学校は、「進んで挨拶ができる
子供」を育てる教育活動を行っている。

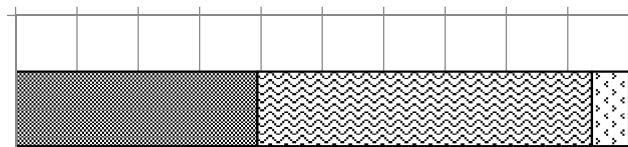


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価と保護者による学校評価 2】 「学力の向上」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【教師】2 「学力の向上」を目指して、分かり
やすい授業づくりに努め、粘り強く学習に取
り組む意欲を高めた。



【保護者】2 学校は、「学力の向上」を目指
した教育活動を行っている。

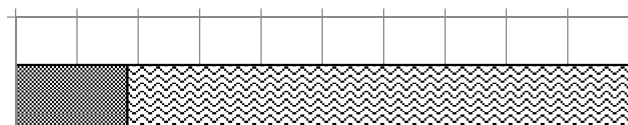


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価と保護者による学校評価 3】 「健康な体」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【教師】3 「健康な体」を育てる教育活動を
積極的に行った。



【保護者】3 学校は、「健康な体」を育てる
教育活動を行っている。

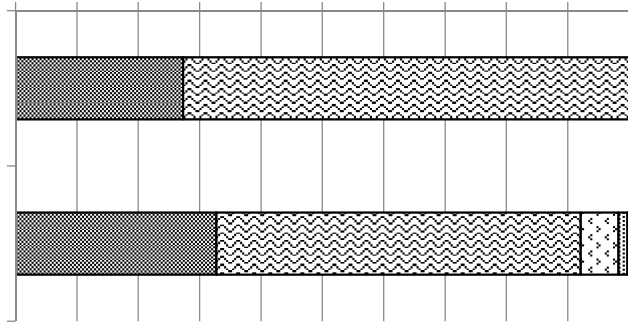


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価と保護者による学校評価 4】 「交通安全」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【教師】 4 「交通安全指導」を積極的に行い、安心・安全な学校を目指した教育活動を行った。

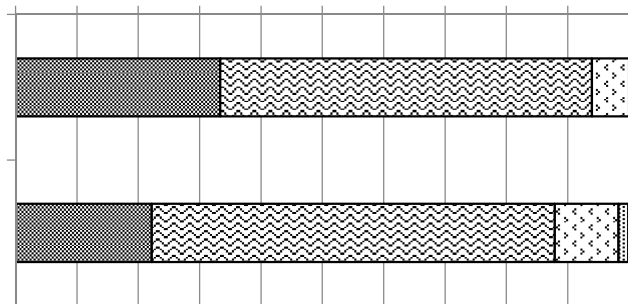


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価と保護者による学校評価 5】 「いじめ根絶」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【教師】 5 「いじめ根絶」に向けて、安心・安全な学校を目指した教育活動を積極的に行った。

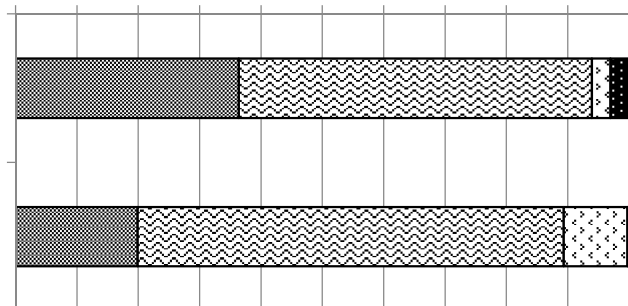


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価と保護者による学校評価 6】 「ルールへの遵守」

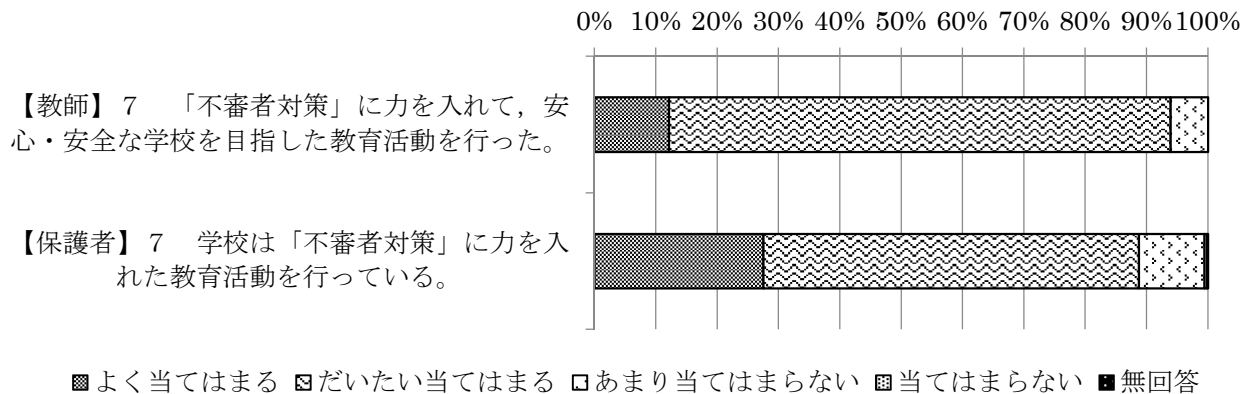
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【教師】 6 「ルールへの遵守」について積極的に指導し、安心・安全に生活できる学校を目指した教育活動を行った。

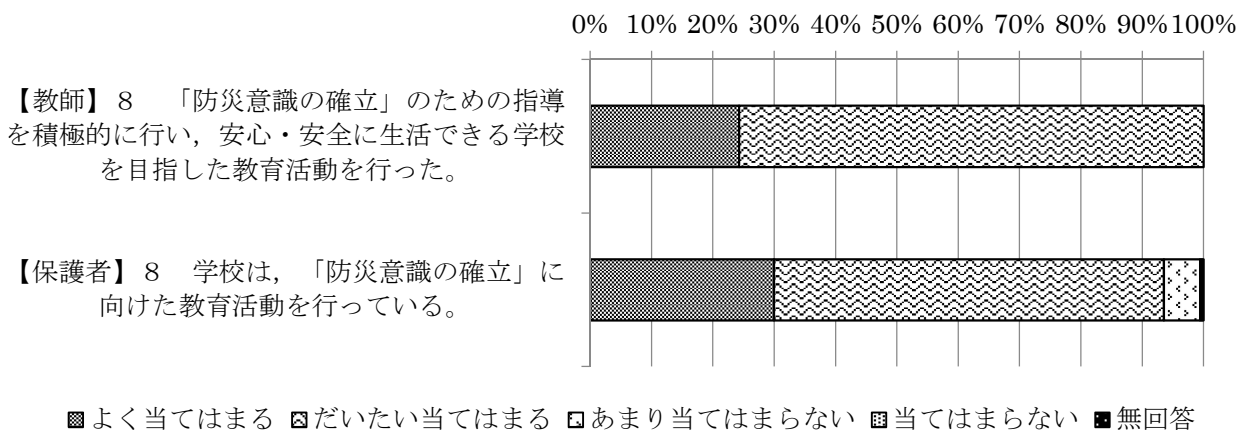


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【教師による学校評価と保護者による学校評価 7】 「不審者対応」



【教師による学校評価と保護者による学校評価 8】 「防災意識の向上」



【教師による学校評価と保護者による学校評価の比較】 についての考察

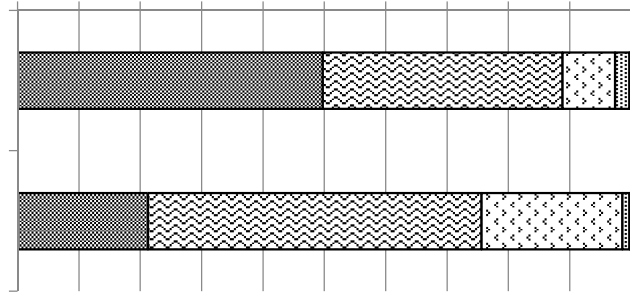
教師による学校評価と保護者による学校評価の比較では、学校の教育活動に対して、教師の捉えよりも厳しい目を向けている保護者が少なからずいることが分かりました。すべての項目で、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した保護者の割合が、10ポイント前後となりました。特に、「ルールの遵守」「不審者対策」「いじめの撲滅」「学力の向上」の4項目については、マイナス評価が12ポイント前後と多くなっていました。学校の取組に対して、何かお感じになっていることがあるのだと推察します。保護者の皆様から信頼していただけるよう、一層努力してまいるとともに、取組の内容をご理解いただけるよう、丁寧に説明してまいります。一方、「不審者対策」と「防災意識」については、「よく当てはまる」と回答していただいた保護者の割合が多くなっていました。今後もしっかりと取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご支援、ご協力を、よろしくお願いいたします。

【児童による自己評価と保護者による児童評価 1】 「進んで挨拶ができる子供」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 1 自分から進んでみんなに挨拶した。

【保護者による児童評価】 1 お子さんは家庭や地域で、自分から進んで挨拶をしている。



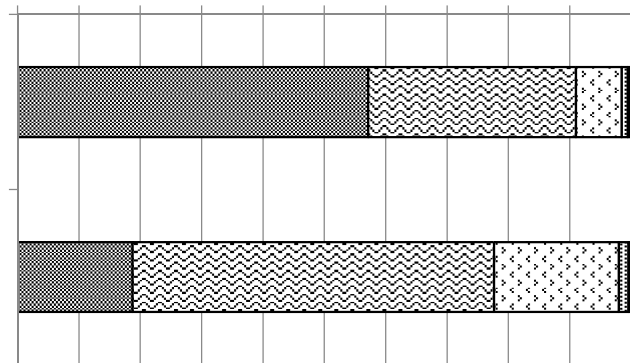
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 2】 「学力の向上」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 2 勉強したことが分かるように、最後まであきらめないうで頑張った。

【保護者による児童評価】 2 お子さんは「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じながら、粘り強く学習に取り組んでいる。



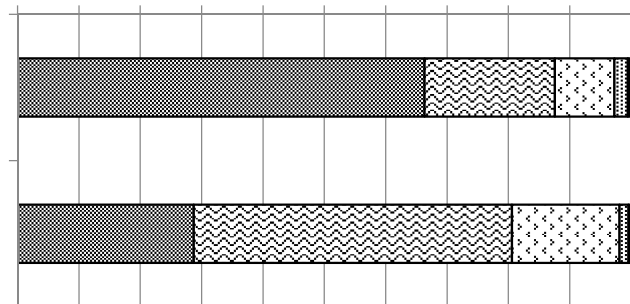
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 3】 「健康な体」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

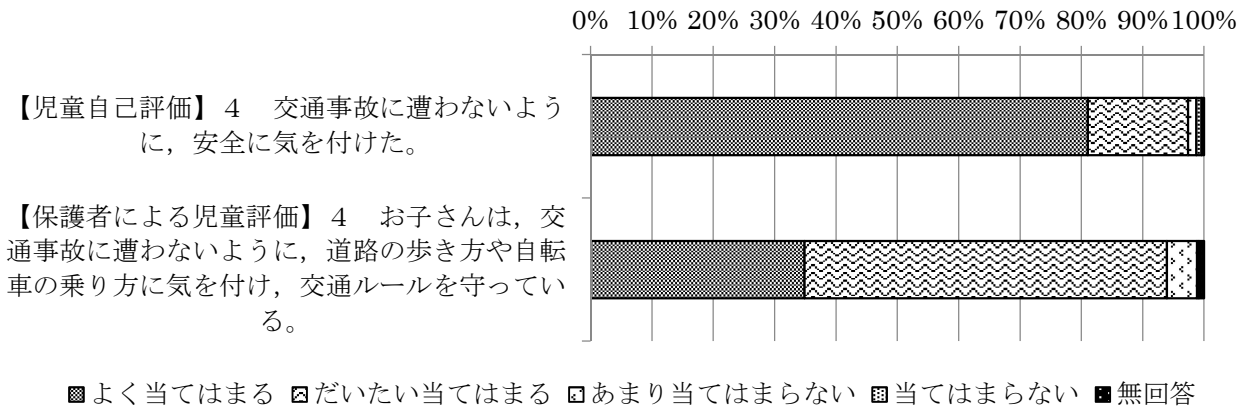
【児童自己評価】 3 元気に生活するために、運動や外遊びを頑張った。

【保護者による児童評価】 3 お子さんは「早寝・早起き・朝ご飯」を実行し、外遊びやスポーツを通して体を鍛えている。

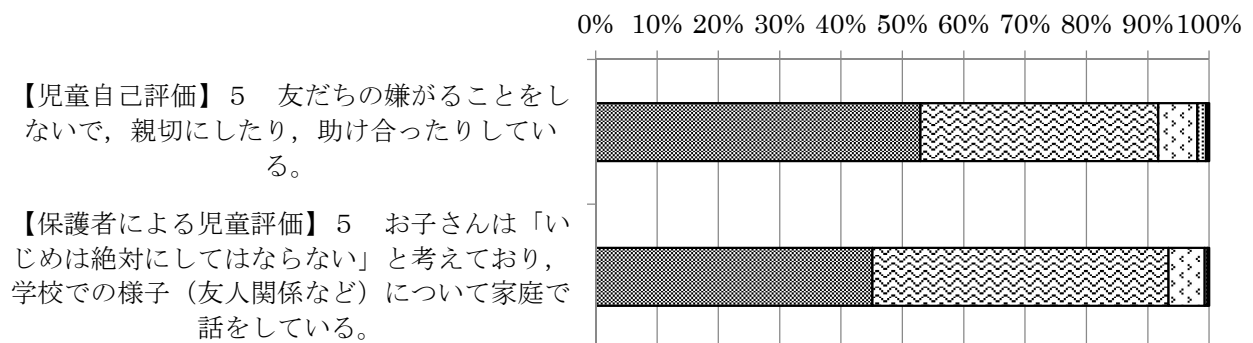


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 4】 「交通安全」



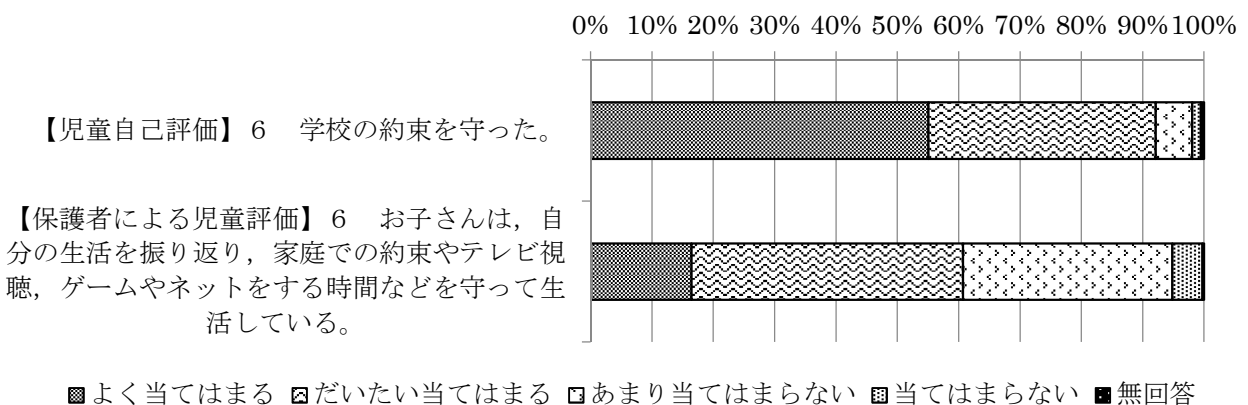
【児童による自己評価と保護者による児童評価 5】 「いじめの根絶」



【いじめアンケートの結果について】

11月8日から11月13日までの間に行った、全児童を対象にしたいじめについての調査の結果をお知らせします。「4月から今までの間に、いじめられたことがある」と回答した児童は152人いました。主なものとしては、多い順に「冷やかしかからかい」、「軽く殴られる」、「仲間はずれ」といった原因が挙げられていました。これらのうち「現在も続いている」と回答した児童は1名でした。続いていると回答した児童には、個別の対応、学級全体での指導を通して解消を図っているところです。1月20日現在では、特に重大な案件はないと捉えております。お子さんの様子で気になることがありましたら、すぐに学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

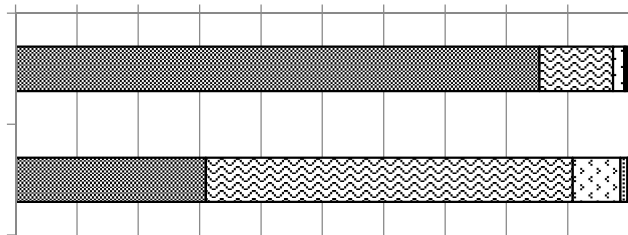
【児童による自己評価と保護者による児童評価 6】 「ルールの遵守」



【児童による自己評価と保護者による児童評価 7】 「不審者対応」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 7 あやしい人に会ったときは、どうすればよいか分かる。
 【保護者による児童評価】 7 お子さんは、不審者に遭遇したときの行動の仕方を理解し、帰宅時間を守っている。

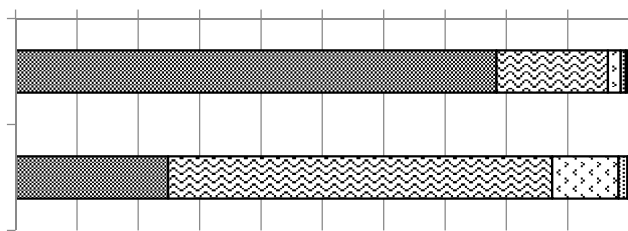


■よく当てはまる □だいたい当てはまる □あまり当てはまらない □当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 8】 「防災意識の向上」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 8 避難訓練に真剣に取り組んだ。
 【保護者による児童評価】 8 お子さんは、地震が起きたときの行動などについて理解している。



■よく当てはまる □だいたい当てはまる □あまり当てはまらない □当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価の比較】 についての考察

児童による自己評価と保護者による自己評価の比較では、「いじめの根絶」についてはほぼ同程度の割合となりました。いじめは決して許されないことだという意識が、多くのご家庭で共有されているからだと考えます。ありがとうございます。その他の項目については、子供たちが自分自身を見る目よりも、保護者の皆様が子どもを見る目が大変厳しいことがよく分かりました。子供たちはまだまだ自分のことを客観的に見えていないのだと思います。きちんと自分を振り返ることができるような指導を学校でも行ってまいりますので、ご家庭でも生活を振り返る場面をぜひ設定してみてください。ただ、質問項目を子ども向けに平易にしたために、差が大きくなってしまった可能性があります。特に、「ルールの遵守」では、子供には「学校のやくそく」で質問したのに、保護者には「ゲームやテレビの時間」と、家庭での約束を質問したために、差が大きくなってしまったのではないかと考えられます。今後、アンケート項目についても精査してまいります。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。自由記述については、教職員全員で、すべて読ませていただきました。建設的なご意見や、学校・教職員に対する温かい励ましのお言葉もいただいております。心から御礼申し上げます。いただいたご意見を生かしながら、保護者や地域の皆様と手を携えて29年度も子供たちの健やかな成長のために、教職員一同頑張っております。引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

校長 佐藤 朗